

多伎中学生が出雲西消防署本署で宿泊体験学習



放水訓練をする多伎中学校の生徒

7月31日から8月1日の1泊2日の日程で、神西新町の出雲西消防署本署において、多伎中学校の生徒が消防署宿泊体験学習を行いました。

この体験学習は、消防に対する知識を学ぶことにより、火災予防の普及啓発を図り、学校生活とは異なる規律・責任感・郷土愛を養うことを目的に、管内の中学生を対象に毎年行っています。

参加した4名の生徒は、普通救命講習や規律訓練、消火に使うホース展張、煙の中での救出訓練などを体験し、「消防士さんは簡単そうにやっておられるが、実際やってみると大変だった。規律訓練や救急法は今後の生活でも活かしたい。」と話していました。

「第10回出雲神話まつり」開催

8月8日、9日の2日間、出雲市の夏を彩る恒例の『出雲神話まつり』が開催されました。

初日の8日は、くにびき中央通りを練り歩く出雲盆踊りに、39団体、約1,000人が参加し、沿道の観客から盛んな声援を受けていました。また、市役所南側だんだん広場の特設ステージでは、「しまねっこ」や「くまモン」(熊本県PRキャラクター)など23体のゆるキャラが大集合。ゆるキャラの登場



来場者とくまモンの記念撮影

に子どもたちは大喜びし、会場は大いにわきました。

翌9日は、大津神立河川敷公園で花火大会が行われ、出雲商業高校吹奏楽部の演奏に合わせ打ち上げられた約9,000発の花火に、多くの人が魅了されていました。



夏の夜空を飾った花火大会

戦後70年、平和への想いを未来へつなぐ～戦没者追悼・平和祈念式典を開催～



平和への誓いを読み上げる多田詩さん

出雲市戦没者追悼・平和祈念式典が8月9日、出雲市民会館で行われ、市長、遺族の皆さんら約500人の出席者が、市内の6,244人の戦没者に祈りをささげました。

戦後70年を迎えた今年の式典では、黙とうに先立ち終戦の玉音放送が流され、献花に続いて、出雲市遺族会及び斐川町遺族会の女性部約500人が制作した千羽鶴が献納されました。

また、湖陵町の今岡登さんは、戦前・戦中・戦後の体験発表を通して平和への想いを語り、須佐小学校6年生の多田詩さんは、「平和な世界を目指して私たちにできること」と題し、「大切な命を簡単に奪う恐ろしい戦争を二度と起こさせないため、私たちが70年前のことをみんなに伝えていく」と平和への誓いを発表しました。



	人口	前月比
人口	174,769人	(+ 6)
男性	84,477人	(+ 37)
女性	90,292人	(- 31)
世帯数	62,534世帯	(+ 37)

[平成27年8月31日現在]

10月の市税・保険料の納期限

市県民税(第3期)、国民健康保険料・後期高齢者医療保険料(第4期)、介護保険料(第4期)の納期限は

11月2日(月)です。 期限までに忘れずに納めましょう。